

2020年度
マンスリーレポート No. 71

2月1日、久留米大学入学試験(一般前期一次)が行われ、安達が東京会場、柏木と山田が御井学舎で監督を担当した。コロナ対策の三密回避で試験会場を増やし、東京は2会場(汐留と新橋)に分散、教職員を少数(18人)に限定、監督係員を現地で調達した。

2月3日、第1学年～第3学年の対面授業が再開され、出校が不安な学生は自宅でWeb受講を許可された。第4学年～第5学年の臨床実習はオンライン実習の継続となった。

2月5日、医師国家試験(2/6～2/7)の受験生を医学部長が激励し、バス(3台)を教職員が見送った。柏木が協同学習ファシリテーター養成WS(2/6 オンライン)の準備を担当した。臨床実習後 OSCE 全国説明会が行われ、山田と古賀さん(教務課)が受講した(オンライン)。

2月6日(土)、協同学習ファシリテーター養成WSが開催され、柏木が会場を支援した。

2月6日～7日、第115回医師国家試験が行われ(2会場に分散)、安達が激励に行った。

2月8日、第4学年～第5学年の臨床実習が再開された。柏木が学位記授与式(3/12)の保護者向けライブ配信(音声画像)のテストを行った。教務委員会が開催され、Office 365導入について柏木が口頭で説明し、RMCP アンケート結果について山田が資料で説明した。

2月10日、PCCE 部会が開催され(オンライン)、山田がアンケート結果をPPTで報告し、来年度の日程(10/4～10/15)を臨床実習直前(10/18～10/29)に移動するように提案した。

2月13日(土)、久留米大学入学試験(一般前期二次)が行われ、安達が小論文(別室受験)の監督、安達/柏木/山田が面接官を担当した。

2月15日 山田が「Pain Live Symposium in SAGA」(第一三共Web)で「脊椎疾患由来の神経障害性疼痛に対するアプローチ」を講演した。

2月16日、教授会議が開催され、医学教育分野別評価認定証(和文/英文)が紹介された(全員にカラーコピー配布)。行動科学部会の報告(谷原部会長)では、行動科学Ⅰ/Ⅱ/Ⅲの明確化(地域医療学や臨床倫理学)と行動科学Ⅳの専門化(狭義の行動科学)が報告された。片山が歯科口腔医療センターの医局で3Dプリンター使用に関する説明と支援を行った。

2月17日、山田が臨床実習ワーキンググループ会議(オンライン)に参加した。

2月18日、日本医学教育学会のメーリングリスト(ユニットの会)の学生のカルテ記載に関する情報を山田が収集/整理して表にまとめ、教務委員長に提出した。

2月22日、柏木が臨床検査専門学校教員に卒業式のオンライン配信を指導した。

2月23日、山田が「福岡県&大分県慢性疼痛診療人材養成集学的ネットワーク研修会&交流会」(Web)で「各大学における慢性疼痛診療の動向」を講演した。

2月25日 山田がPCCEのアンケート結果を大学病院看護部長/副看護部長に報告した。

2月28日(日)、柏木と山田が医学教育専門家認定コースを受講した(オンラインWS)。福岡県に発出されていた2回目の緊急事態宣言が解除された。

*クリニカルスキル・トレーニングセンターで開催されたイベントは次のとおり。

2月2日、患者急変時対応勉強会(病棟看護師)

2月4日、中心静脈カテーテル挿入トレーニング(救命医師)

2月19日、気管内挿管管理研修会(病棟看護師)

2月19日、救急蘇生研修会(病棟看護師)

2月24日、心電図勉強会(病棟看護師)

2月26日、ロボット支援下手術シミュレータトレーニング(外科医師)

文責：安達洋祐